

第44回

国際日本文学研究集会

令和3年(2021)5月8日(土) 13:00~

開会挨拶 渡部 泰明(国文学研究資料館館長)

総合司会 海野 圭介(国文学研究資料館教授)

第1セッション 近世Ⅰ 司会 勝又基(明星大学人文学部教授)

●大成聖安尼の孤独—近世比丘尼御所における漢詩の研究

堀川暢子(ワシントン大学 アジア言語文学学部 日本文学博士課程) 13:10~13:40

●和刻本仏書に見る漢籍受容—『大明仁孝皇后勸善書』の展開とその翻訳に注目して—

木村迪子(日本学術振興会 特別研究員(PD)) 13:45~14:15

●浅井了意の産死觀

金慧珍(東京大学大学院人文社会系研究科 日本文化研究専攻博士課程) 14:20~14:50

休憩20分(14:50~15:10)

第2セッション 近代Ⅰ 司会 斎藤理生(大阪大学大学院文学研究科教授)

●御歌所と歌会始の政治的な役割

Carbune Maria (ハイデルベルク大学 日本学研究所 博士後期課程) 15:10~15:40

●平林たい子『施療室にて』—プロレタリア文学と産児制限との関わりを中心に

Michielsen Edwin (トロント大学 東アジア研究科博士後期課程) 15:45~16:15

●堀内新泉の宇宙探検—科学小説の起源が語るアンチ・ミーチス

Strippoli Giuseppe (エдинバラ大学 文学研究科アジア文化学科 博士後期課程) 16:20~

16:50

ポスター発表

●村松剛と共産主義:希望から幻滅へ

神谷光信(関東学院大学キリスト教と文化研究所客員研究員)

●『騎士団長殺し』から見るエロティシズム

周鈺(国際基督教大学アーツ・サイエンス研究科アーツ・サイエンス専攻 博士後期課程)

●恋川春町作『鶴鳴返文武二道』の解釈へのノート

Csendom Andrea (東京外国语大学 オープンアカデミー 講師)

●『仮名列女伝』に見られる日本古典の再創作

陳羿秀(台湾静宜大学 日本語学科助理教授)

●「再暗黒の東京」における光線画技法の適用

マクドゥエル久美子(オレゴン大学 東アジア言語文学学部 博士課程)

●「沈黙」…事実とフィクションの混合

Muhammad Marwa (アインシャムス大学 外国語学部 日本語学科補助教員)

●山上碑初考

賴衍宏(静宜大学副教授)

第44回

国際日本文学研究集会議

令和3年(2021)5月9日(日) 10:30~

総合司会 齋藤 真麻理(国文学研究資料館教授)

第3セッション 中古中世 司会 新美哲彦(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

- 『うつほ物語』における昭君説話に関する一考察—引用のあり方とその独創性について—
趙小菁(北京外国语大学北京日本学研究センター博士後期課程) 10:30~11:00
- 京極派歌論における「悟り」の意味
和氣キャロライン晃子(北コロラド大学世界言語学部アシスタントプロフェッサー) 11:05~11:35
- スペンサー本『咸陽宮絵巻』の成立をめぐって—『張良絵巻』との比較を中心に—
向偉(北京大学外国语学院日本言語文化系博士課程) 11:40~12:10

休憩60分(12:10~13:10)

第4セッション 近代II 司会 中村ともえ(静岡大学教育学部准教授)

- 志賀直哉「邦子」の方法—同時代言説を視座として
尹美羅(大阪大学大学院文学研究科博士後期課程) 13:10~13:40
- 栗木京子短歌における「社会詠」と国際社会—2020年『塔』詠出歌を手がかりとして—
草木美智子(法政大学グローバル教育センター教育講師) 13:45~14:15
- 宝塚歌劇「源氏劇」の原点を辿る—『源氏物語 賢木の巻』と源氏能を結び付けて—
劉嘉榕(北京外国语大学日本学研究センター博士後期課程/河北農業大学外国语学院
日本語科教師) 14:20~14:50

休憩20分(14:50~15:10)

第5セッション 近世II 司会 平野多恵(成蹊大学文学部教授)

- 絵巻と西鶴:近世写本文化の一例
Leca Radu(ハイデルベルグ大学東洋美術史研究所研究員) 15:10~15:40
- 「和習」言説と江戸中期における詩風の革新
Fink Victor 15:45~16:15

閉会挨拶 河野貴美子(早稲田大学文学学術院教授) 16:15~

主催:



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館
National Institute of Japanese Literature

開催形態:オンライン(Youtube配信) 事前登録不要

Web: <https://www.nijl.ac.jp/>

Email: icjl@nijl.ac.jp